令和5年6月30日

国立大学法人　千葉大学

学術研究・イノベーション推進機構

起業体験プログラム「TOKKA」募集要項

1. プログラムに参加することでできること

本プログラムは千葉県内に在学・在住の高校生が、地域課題の解決や新規ビジネスに先駆的に取り組む活動を通して、何かに特化した活動や自分のアイディアを実現することを応援するプログラムです。

1. 支援内容

（1）活動経費の支援

必要となった物品や交通費等については、本プロジェクトから経費をお支払いするようにします。支援する活動資金額は、個人・グループに問わず、30万円（税込）を上限とします。支援費用割合はいずれも10割とします。

認められない経費の例については「6. 支援対象費用」を参照のこと。千葉大学が料金を立て替え、高校生の皆さんの手元には現金という形ではなく物品・サービスとして提供します。運営事務局、千葉大学、高校生の三者で綿密な情報共有ができることを前提とします。なお、TOKKA運営事務局が主催する定期イベント（「キックオフイベント」、「中間報告会」、「最終報告会」）までの交通費は個人・グループに割り当てられる活動経費とは別に支給します。

（2）メンターとの接続

学術研究・イノベーション推進機構の「イノベーションパートナー制度」に登録された会員企業様をはじめとする、千葉県内企業の経営者等をメンターとして、各個人・グループと接続します。キックオフイベントから最終報告会まで、社会人メンターが高校生との面談を月に少なくとも1回，最大で4回程度で実施します。また、気軽に相談できる相手として、大学生・大学院生がサポートに入ります。

1. 採択数

本事業においては、5件の採択を行います。なお、採択数は目安であり、予算の範囲内において増減します。

1. 支援対象／参加条件

令和5年度現在、千葉県内に在学・在住のいずれかに該当する高校生で、傷害保険（自分がけがをした場合に適応できる保険）と、損害保険（相手に損害を与えた際に適応できる保険）、あるいは両方の内容を含む総合保険等の加入が済んでいる者のうち、次の条件をすべて満たす高校生個人、またはグループ。

高校生個人

（1）すでに本件活動に類する活動を実施中、または申請年度内に本件活動を開始することが確定している個人

高校生グループ

（1）すでに本件活動に類する活動を実施中、または申請年度内に本件活動を開始することが確定している個人

（2）千葉県内に活動拠点があり、2人以上で構成されること。（他校学生とグループを組んで応募することは可能）

全員

（1）「10. 今後のスケジュール」に示した「キックオフイベント」と「最終報告会」に参加できること

（2）参加プログラム前に保護者の方の同意書を提出すること

1. 支援対象となる事業テーマ（例）

・地域活性化を目的とするフォトジェニックスポットの製作とビジネスプランの検証

・マイノリティを包摂する避難所運営のマニュアル製作とビジネスプランの検証

・観光促進のためのサイクリングコースのプロトタイプ作成とビジネスプランの検証

・野生鳥獣による農作物被害防止のための新規技術開発とビジネスプランの検証

・地域の子育て世代コミュニティの活性化を図るアプリ開発とビジネスプランの検証

・安価に多地点のトイレ混雑を検知するシステムの開発とビジネスプランの検証

・エレベーター混雑時における車椅子やベビーカー利用者の通知システム開発とビジネスプランの検証

※上記はあくまで例であり、異なる分野の事業テーマでも問題ないことに留意する。

1. 支援対象費用

支援対象となる経費は、活動に直接必要な費用のうち、次の表１に記載の費用とする。なお、支援事業の対象期間内に発生し、当該期間内に支払いが完了するものに限る。いずれの費用においても千葉大学の名義で購入する。

表1

| 科目 | 内容（例） | 認められない経費（例） |
| --- | --- | --- |
| 謝礼金 | ・講師謝礼 | ・構成員への報償費 |
| 交通費 | ・構成員の交通費  ・講師の交通費 | ・旅行の目的などに合理性が認められない場合の視察経費 |
| 消耗品 | ・事業の実施に係る事務用品、材料費 | ・参加者全員を対象とした景品、記念品 |
| 印刷費 | ・対象事業に係るチラシ、ポスター、冊子、はがきなどの印刷費 | ・対象事業と関係のない印刷費 |
| 通信  運搬費 | ・チラシや連絡文書等の送料  ・会場への物資運送料  ・対象事業に関するホームページの維持管理経費（対象経費が明確に区分経理できるもの） | ・対象事業とそれ以外の利用が区別困難な電話料金 |
| 保険料 | ・ボランティア保険料  ・イベント保険料 |  |
| 外注費 | ・事業の一部を専門業者に外注する費用  ・ホームページ、印刷物等のデザイン費用 |  |
| 使用料 | ・会場使用料  ・物品のレンタル料 | ・事務所家賃等の経常経費 |
| 備品 | ・事業の実施に使用する備品の購入費（ただし、支援金の2割以内） |  |
| その他 |  | ・事務所の光熱水費等の経常経費  ・構成員の人件費 |

（例）・講師謝礼について、講師派遣を伴う企画については、高校生が主体的に企画を行うが、千葉大学が主催開催し、講師依頼は千葉大学が行う。講師謝金は千葉大学の謝金の規則に従う。

1. 今後のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | 内容 | 詳細 |
| 7月3日（月） | 募集要項・説明動画の公開 | 県教委を通して県内高校等へポスターを配布し周知する。  説明会については事前に録画し、YouTube等で公開する。 |
| 7月11日（火） | 応募の受付開始 |  |
| 調整中 | 事前相談会（オンライン） | 連携先がzoomのホストとしてzoomを管理、IMOの複数名が相談相手として対応する。 |
| 日時 | 内容 | 詳細 |
| 7月21日（金） | 募集の締め切り |  |
| 7月28日（金） | 審査結果の通知 |  |
| **8月4日（金）9:30-16:00**  **8月4日（金）12:00-14:00** | キックオフイベント  ランチ交流会 | ペリエホールでの開催を予定。 |
| 8月中旬 | 高校生による  予算執行の受付開始 |  |
| 9〜12月（月1開催）  ※高校生が集まりやすい日程を調整・決定する。 | 高校生交流会  大学生による各種ワークシップ | 交流会は、進捗状況の共有、悩み相談などを実施し、横のつながりを強化することを目的とする。  また、高校生からの要望を集め、デザインや交渉方法などに関するワークショップを大学生が企画し、交流会と同日程で開催する。 |
| **11月19日（日）**  **13:00-16:00** | 中間報告会 | オンライン（Zoom）での開催を予定（ハイフレックスの可能性あり）。 |
| 1月末 | 高校生による  予算執行の受付終了 |  |
| **2月18日（日）9:30-16:00**  **2月18日（日）12:00-14:00** | 最終報告会  ランチ交流会 | ペリエホールでの開催を予定。 |

1. 審査員について

審査員は以下の4名（敬称略）。

【千葉大学】千葉大学学術研究・イノベーション推進機構 機構長　藤江幸一理事

【アントレプレナーシップ担当部署】スタートアップ・ラボ部長　片桐大輔特任教授

【民間企業】株式会社PLUS-Y　　　　　　　永田洋子様

【金融、半民半官】日本政策金融公庫　　　　山田晃様

1. 審査方法と審査基準について

二つの提出するものから審査する。

・一つは事業計画書で、審査員は実証したいと考えるビジネスのプラン内容や半年間のスケジュール、収支の見通し等を見る。

・もう一つは動画で、審査員はどのような思いから、どのくらいの熱量にTOKKAに参加するのかを見る。

TOKKAでは下記の表に従って「事業計画書」と「動画」の各項目を採点し、の合計点の高い者の順に採択する。

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | |
| プラン | 課題の明確性＜20点満点＞ |
| 目的とビジョン＜10点満点＞ |
| ステークホルダーの明確性＜10点満点＞ |
| 計画性＜10点満点＞ |
| 動画 | 思いへの共感＜10点満点＞ |
| 合　計 | |

＜各項目の説明＞

・課題の明確性：具体的な課題を明確に認識し、その課題が地域内においてどのように重要であるか示しているかどうかを評価します。

・目的とビジョン：計画が実行された先の未来をどのように想像しているのか、明確な目的やビジョンを持っているかどうかを評価します。応募者自身が千葉県や自身の関わる地域をどのように発展・改善させたいのか示されているかどうかを考慮します。

・ステークホルダーの明確性：計画と実証の過程で、地域内の関係者や団体との連携をどれだけ想定しているかどうかを評価します。連携によって、プランの効果が最大化されるかどうかを考慮します。

・計画性：半年間のスケジュールが、実現可能な内容で記入できているかどうかを評価します。

・思いへの共感：30秒間でプランに対する思いが伝わるかどうか、応募者の思いに共感するかどうかを評価します。

＜点数の基準＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 20点満点 | 10点満点 | 評価内容 |
| 17～20点 | ９～10点 | とびぬけて優れている |
| 13～16点 | ７～８点 | 優れている |
| ９～12点 | ５～６点 | 普通である |
| ５～８点 | ３～４点 | やや劣る |
| １～４点 | １～２点 | 劣る |

1. 高校生の応募方法

（1）WEB応募（こちらの方法を推奨）

以下のリンクにアクセスし、応募登録を行ってください。

https://startup-lab.chiba-u.jp/tokka

（2）郵送応募　※WEB応募が難しい場合のみ

WEBサイトからの応募登録、事業計画書の提出が困難な場合は、郵送での応募も受け付けています。下記宛先に郵送にて印刷した事業計画書をご提出ください。

|  |
| --- |
| 〒263-8522  千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33  国立大学法人千葉大学　学術研究・イノベーション推進機構　3F  スタートアップ・ラボ　TOKKA運営事務局 |

1. 高校生の提出書類

・事業計画書

　ダウンロード先 : https://startup-lab.chiba-u.jp/tokka

・動画のファイル（.mp3や.mp4などの標準的なファイル）

　動画の中で自身の名前は全員述べてください。学校名は述べないでください。

また、事業計画書の提出にあたり、事前説明会および相談会を開催します。日程は「TOKKA」HPにおいて公開します。記入方法が分からない・アドバイスが欲しい等があれば、こちらにご参加ください。

1. 高校生の応募時の注意事項

ご提供いただいた情報および今後ご提供いただく情報の利用目的は、次の通りです。

|  |
| --- |
| (1) ご本人の確認  (2) 応募の受付、審査および審査結果の通知・発表  （注）ご提供いただいた情報（学校名、グループ名、応募者氏名、プラン概要、事業計画書の内容等）をホームページなどで公表することがあります。  (3) アンケートの実施等による調査・研究および参考情報の提供  複数の学校の生徒で構成されたグループでの応募も可能です。  キックオフイベント、中間報告会、最終報告会には、原則参加してください。止むを得ない事情がある場合には、事前に事務局へ相談してください。  審査結果についての個別の問い合わせには応じられません。  応募用紙などの返却はいたしません。  虚偽の事実や盗用などが判明した場合は、結果公表後においても採択を取り消すことがあります。  応募プランに関する特許権などの知的財産権の取得については、必要に応じてあらかじめ応募者が行ってください。 |

1. 注意事項

・他のコンテスト等との兼ね合いについて、実証期間が重なるものについては、重複となる応募は受け付けることができません。ビジネスプランを提案するような他のコンテストに応募した内容と同様の内容で本プログラムに応募することは可能です。

・

・写真・動画撮影に関して、下記について、ご承諾お願いします。

　- 研修中、写真や動画の撮影を行う可能性があること。

　-主催・開催協力・運営企画の各主体で、これらの写真・動画を、PR等のために許可なく使用すること。

承諾いただけない場合は、プログラム開始までにその旨をimo-entre.edu@chiba-u.jp

までお知らせください。

・活動中の事故やトラブルについて、主催者の故意または過失によらないトラブルによる損害については国立大学法人千葉大学　学術研究・イノベーション推進機構（IMO）スタートアップ・ラボ　TOKKA運営事務局は一切責任を負いません。

・禁止事項について

プログラム参加中の個人を特定できるような写真や動画（顔と氏名がセットで写っているようなもの）や、研修中に知り得たセンシティブな個人情報を参加者にて公開することを禁止いたします。

1. 問い合わせ先

国立大学法人千葉大学　学術研究・イノベーション推進機構　3F

スタートアップ・ラボ　TOKKA運営事務局

imo-entre.edu@chiba-u.jp

1. 備考

\*1　GTIE（Greater Tokyo Innovation Ecosystem)は、世界を変える大学発スタートアップを育てるために、起業活動支援、アントレプレナーシップ人材の育成、起業環境の整備、エコシステム形成の4つの活動を、東京大学、早稲田大学、東京工業大学が共同主幹機関として実施するプログラムです。千葉大学は共同機関として参画し、アントレプレナーシップ教育事業において教育プログラム開発等を担っている。